

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院麻酔科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身、もしくはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分もしくはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2020年4月9日～2025年11月30日の間に、CTガイド下呼吸器外科手術を受け、硬膜外カテーテルを留置した方

【研究課題名】

硬膜外カテーテルの留置長、および先端位置に関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

硬膜外カテーテルを留置した状態で撮像された胸部CTを検討することで、麻酔科医のカテーテル留置長の想定と実際の留置長を比較し、また体位変換に伴うカテーテル位置の変異を分析します。

これにより硬膜外カテーテルの適切な留置長と穿刺体位の最適化を図り、有効な硬膜外カテーテル留置を目的とします。

《研究に至る背景》

硬膜外麻酔は1950年代から臨床に導入されていますが、その留置位置や留置長は麻酔科医の経験によるところが大きく、体内での実際のカテーテル位置ははっきりしておりませんでした。

本研究では、CTで撮影した硬膜外カテーテルを分析し、実際の留置位置、留置長を計測し、適切な留置長検討の一助とします。

【研究期間】

2024年3月25日～2026年5月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 麻酔科部長 玉井久義において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できな

い形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

提供する予定はありません。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、CT 画像データ

【研究代表者】

虎の門病院 麻酔科部長 玉井久義

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 麻酔科部長 玉井久義

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

① 虎の門病院 麻酔科 部長 玉井久義

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身もしくはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身もしくはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 手術日から三ヶ月(ホームページ掲載時に既に手術後三ヶ月以上経過している方は掲載後三ヶ月) までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 麻酔科 柴田哲秀 / 小池伶奈

電話 03-3588-1111(代表)